

# 六甲カトリック教会 教会報



## 小教区評議会報告（要約）

今年度2回目の小教区評議会が10月11日（日）開かれました。引き続きコロナ下での教会活動をいかに進めて行くか、を主なテーマで協議されました。

### § 協議された内容 §

#### 1. 今後のミサの回数

主日のミサ 日曜日 11時30分からを加える。10時と11時30分の地区割は第1、第2グループの週替わりの交代制とする。期間は当面11月8日から1月3日まで。

#### 2. クリスマス・ミサの混雑回避対策

- ① ミサの回数 12月24日（木）は15時 16時30分 18時 19時30分 21時の5回とする
- ② 案内係は各2人
- ③ 事前に希望するミサの時間の申し込みを受け、整理券を発行。1回のミサの 人員制限は100人  
11月8日に案内書を配布 11月15日より事務所にて整理券を渡す。
- ④ 12月25日（金）のミサは7時30分 10時 11時30分の3回

#### 3. その他の教会行事

- ① 死者の日ミサ[11月2日（月）7時 10時] 実施
- ② 大掃除 [12月5日（土）9時～] 実施
- ③ 神の母聖マリアミサ[12月31日（木）23時 1月1日（金）8時30分 11時 12時30分]
- ④ 阪神淡路大震災追悼祈念の日[1月17日（日）] 実施
- ⑤ 地震避難訓練[1月24日（日）] 中止
- ⑥ 結婚準備セミナー[2月6日（土）～3月27日（土）] 実施

#### 4. 各部会等からの検討依頼事項

中村神父さまより コロナ対策について警戒レベルをもう少し下げてはどうかとのご提案があったが、現時点では時期尚早と思われるので様子をみたい、ということになった。

#### 5. 報告事項

- ① WEB 配信による「松浦・デ・ビスカルド篤子さんの講演会」 317回再生(延べ42時間)

- ② 平和旬間行事に際し教会独自の冊子を製作し活用できた。記録シートをシナピスへ送付した。  
(8月28日)
- ③ 神戸地区宣教司牧評議会報告(略)
- ④ 2021年度予算の作成について  
各部会の活動計画と予算を提出のこと 11月22日(日)まで 議長へ  
12月6日(日)の第3回評議会で審議決定
- ⑤ 2021年度年間予定表の作成準備にかかる
- ⑥ 神戸バイブルハウス発行の NewsLetter の「会員教会を訪ねて」に六甲教会の紹介を投稿している。HPからもアクセスできる。
- ⑦ 聖堂にモニターが設置された。

👉 第3回小教区評議会は12月6日(日)13時～第1、2会議室

### 11月の主日ミサ予定表

日	時	地区(グループ)
7日(土)	18時	どなたでも
8日(日)	7時半	どなたでも
	10時	第1グループ
	11時半	第2グループ
14日(土)	18時	どなたでも
15日(日)	7時半	どなたでも
	10時	第2グループ
	11時半	第1グループ
21日(土)	18時	どなたでも
22日(日)	7時半	どなたでも
	10時	第1グループ
	11時半	第2グループ
28日(土)	18時	どなたでも
29日(日)	7時半	どなたでも
	10時	第2グループ
	11時半	第1グループ

第1グループ  
灘北1・北三田  
灘北2・阪神  
灘南・神戸西

第2グループ  
灘西・中央  
東灘北1  
東灘北2・芦屋  
東灘南



### 防寒着 寄付のお願い

一気に秋が深まり朝晩肌寒く感じられるようになって来ました。6月から再開した小野浜の炊き出しも今のところコロナ感染の話もなく、大方の利用者がマスク着用、アルコール消毒に協力し、禁煙を守りながら過ごしています。さて、今年も越冬越年を過ごすおじさんたちのために防寒着(ジャンパー、ヤッケ、パーカー、フリース素材のアウターなど)を集めたいと思っています。1点でも構いませんので、お持ち頂ければ助かります。11月15日(日)までに、ごミサの前後に聖堂前に置かれた段ボールにお入れ下さい。ご協力の程よろしくお願い致します。



社会活動部

### ◆ 社会活動部の予定

- 11月4日(水) 10時 手芸の集い (第1、第2会議室)
- 11月14日(土) 10時 炊き出し (神戸中央教会 中庭)
- 11月27日(金) ともしび会 (有志のHome madeによるケーキを施設の子どもたちへ)

## ひさしぶりの 教会結婚式

今年になって初めての結婚式ではなかったでしょうか。10月3日（土）マリア・浅野純加さんと石田力三さんの結婚式が行われました。本来は4月に挙式予定だったのがコロナ騒動で延び延びになっていたのです。浅野さんはテレマン合唱団の団員。六甲教会聖歌隊のメンバーでもあります。ソーシャルディスタンスを厳重に守って



聖歌隊を中心に精一杯の祝歌を歌いました。アルフレド神父様の「絆を大切に」という祝辞を受け、テレマン合唱団の渡辺有香さんのアヴェマリア独唱が花を添え、お二人は結婚の誓約のことばをはっきりと宣言しました。聖堂でひさしぶりの結婚式に参列して、集まった人々は心からの拍手を送っていました。

### 聖堂にモニター設置

コロナ禍による建設業者の対応の緩慢や他事業との同時進行の回避のために遅延していました。聖堂のモニター設置工事が漸く完成しました。

昨年の夏から安全性、美観、機能、送受信システム、費用等を要因に総合的な比較検討を繰り返し、最終の形態を決定しました。この事業では、モニターの支持架構を表面ブロック壁背面の本体壁に固定する構造の採用により美観の実現と安全性の確保を図ったこと、および、85型（インチ）モニターの採用と必要機器を教会で調達して支持架構の製作と施工のみを建設業者に発注する契約形式の採用により費用の削減を達成したことが主な特徴です。

今後、コロナ禍が終息すれば、モニターは主任司祭の指導の下にミサ中の聖歌番号の表示を始め、ミサの様々な補助機能として活用されることが期待されます。その他、教会の諸報告会、講演会、コンサート等の補助、ならびに聴覚障害者の補助手段としても活躍するものと考えられます。

最後に、アルフレド神父様の当事業に対する斬新な発想と尽力および施設管理部員の相互の助言と協力により事業が遂行したことを追記して謝意を表します。（施設管理部 本下稔）

### 図書室からのお知らせ 10月に入った図書

#### ☆ 教皇講話集『十戒・主の祈り』 — 教皇フランシスコ カトリック中央協議会・ペトロ文庫

2018年夏からの「十戒」をテーマの17回 19年5月までの「主の祈り」をテーマの16回の講話を集めた。十戒は神との対話、隷属からの解放への自由への道だと説き、キリスト者の祈りは「アッパ」の一言を心に抱くだけで深められるのだと教える。愛である神との関係に関するカテケージス。

#### ☆ 黙示録から現代を読み解く — 英 隆一郎 女子パウロ会 2020年2月刊

混迷する社会の中で、キリスト者としてどう生きてらよいか。教会はどこに向かっていけばよいか。黙示録からその道筋を探り、未来への方向性を示す。



## みんなの広場

～ユスト高山右近の足跡をたどる巡礼のこと～

ユスト高山右近の列福が決まった 2016 年から、その足跡をたどる巡礼を重ねてきました。

六甲教会はイエズス会が司牧する教会ですが、右近も当時のイエズス会との強い繋がりの中で信仰を育みました。キリシタン時代への関心と、教会信徒が集まって何か一緒に動けばいいねという思いが重なったところに、列福決定のタイミングで、有志数名により巡礼の企画がスタートし今に至ります。

これまで 6 回の巡礼で、生誕地・高山とイエズス会の教会があった伏見、高槻から京都、小豆島、明石から茨木の千提寺地区、金沢、堺と、縁の各地を訪ねてきました。巡礼の計画を進めるにあたっては色々調べをします。これは役得とも言えますが、キリシタンの時代を知るほどに新鮮な驚きが得られます。

福者となった右近については、余りにも模範的な面ばかりが取り上げられたり、所詮は恵まれた身分の貴族の子弟だからと好意的に言われたいこともあります。生来様々な能力に秀でていたことは事実ですし、その境遇や置かれた状況の中で与えられた命を生き抜いたひとりの人の人生です。違う時代の私たちが容易に掴みきれものではないでしょう。それでも、そのように彼を生きさせたのが、現代の私たちと同じキリストへの信仰なのであれば、それがどういうことなのかもっと知りたくなるのです。右近だけでなく、この人がいたからこそと思える右近の父ダリオや、イエズス会宣教師のオルガンティーノやヴァリニャーノら、彼らが信仰を生きる姿を右近との関わりの中に垣間見るとワクワクさせられます。キリシタン時代の人々とその歴史は、私たちと地続きなのだと思えてくるし、そこに連ならせてくださいという気持ちにもなります。

この 5 月に計画していた長崎とその周辺への巡礼はコロナ禍で中止となり、いつ再開できるか今のところ目処も立ちませんが、最終的にはフィリピン・マニラまで行くことを目指しています。その際にはぜひ、たくさんの方々と一緒に旅が出来ればと願っています。 (田中雅子)



### 今月の聖人 11 月

#### ☆ 聖アンデレ

シモン・ペトロの兄弟であるアンデレはペテロよりさきにイエスに従ったと言われています。殉教したときに X 型の十字架につけられたとされ、X 型十字をアンデレ十字と呼んでいます。大阪の桃山学院のシンボルはアンデレ十字。セントアンドリュース・ユニヴァーシティです。青と白のスコットランド国旗にもその意匠がみられます。記念日は 11 月 30 日。5000 人にイエスが食べ物を与える場面に登場するほかはエピソードに乏しい人物ですが、イエスの弟子としてはペテロ、ヨハネに次ぐ地位についています。聖書ではペテロの兄弟とだけ記され、兄なのか弟なのか不明ですが、多分落ち着いた行動、ペテロを先導していることなどから兄ではなかったのでしょうか。主に東方で布教活動を行い、ロシアにも影響を与えています。画像は 18 世紀の会堂のイコンです。



## ◆キリスト者の一致と和解◆

コロナ禍の中で一つの大きな収穫は、毎週の月曜日・朝7時から8時半まで三ノ宮のプロテスタント教会で開かれている朝禱会に喜び勇んで参加している事である。キリストを信じる兄弟姉妹が教派を越えて行う礼拝と賛美と朝食の集いである、東京でも広島でも一年に一回というタナバタ行事としては経験済みではあったが、互いに教派のシガラミを越えて、老若男女や信徒・教職者のカキネを取っ払って、共にキリスト者としての原点に立ち返って親しく祈り分かち合う。たしかに欧米の諸国では、カトリックとプロテスタントが血で血を洗う争闘に明け暮れた長い痛ましい歴史がある。しかし幸いにも、日本では事情は大いに異なる。自分自身も含め多くの場合は、両者の対峙や対決なしにキリスト者となった。近所にたまたま新教の教会があったり、近くで通ったのが旧教のミッション校だったり、親しく関わった先生が神父さんだったり牧師さんだったりの理由で、教派が決まるのが普通の道かとおもわれる。もちろん例外的には、大学時代の煩悶や思索によって決断した場合もあろう。また外国の宣教師たちが、苦い排他意識を持っていたかもしれない。

我が家ではなぜか子供たちは皆バルナバ病院で生まれ、また私は一年ばかりプロテスタントの幼稚園に通った。御影の神大付属に小中と通い、高校はイエズス会が経営する六甲学院に編入した。祖父も父も関西学院を卒業し、姉はプロテスタントで、教団の牧師さんと結婚し、また私の父の葬儀は彼が司式した。彼の任地である浜坂を

訪問し教会に寝泊まりもした。また神学生の時に神出の養護施設で開かれた一ヶ月の毛エクメニカルキャンプに参加し、種々の教派の若者と一緒に汗を流して働いた。教会司牧に転じてからも益田では3人の牧師さんたちと、月に1度持ち回りの集まりがあった。また下関の長府教会の5年間では、七、八人の互いに教派を異にする牧師さんたちと毎月一回、親しく楽しい集会があり、大いに啓発された。またテゼーのブラザー・ギランが毎年、下関に来た折に、各教会は持ち回りで祈りの集まりを開いて一緒に歓迎した。たしかに私は他教派の方々とは多様なご縁に結ばれてきたが、おそらく皆さんの歩みにもきっと種々の関わりがあったにちがいない。

朝禱会では「奨励」と名づけて、阪神間の諸教会の牧師や信徒を呼び招いて聖書教話を戴いているが、彼らの誠実で懸命な献身を聞くにつけ頭が下がる。日本の人々をイエスキリストの福音・救いに与らせようと、どれほどの犠牲を長年にわたって払って来られたことか。しかしながら、人口に占めるキリスト者はまだ1パーセントに満たない。日本の精神風土や宗教界に、キリスト教は今もって地歩も市民権も持っていないようだ。キリスト教会内の抗争・敵対・分裂のゆえもあろう。全キリスト者はイエスの切なる祈り・悲願に耳を傾け、大いに努め働き願おうではないか。「父よ、私たちが一つであるように彼らも完全に一つになる事です。それはあなたが私を遣わし私を愛されたことを、世が信じるためです。」  
中村健三 合掌

【 2020 年 11 月 予定表 】

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
諸聖人(年間第 31 週) 秋の墓参	死者の日ミサ 7:00 10:00	教会受付休 み			初金曜日ミサ 7:00 10:00 聖体顕示 ◎東灘南	
8	9	10	11	12	13	14
年間第 32 主日 祈りと音楽の集い	ラテラン教会の 献堂					
15	16	17	18	19	20	21
年間第 33 主日 貧しい人のための世界祈願日 聖書週間(～22 日) 七五三祝福 ◎日曜班				定期清掃		
22	23	24	25	26	27	28
王であるキリスト クリスマス飾りつけ	教会受付休 み				◎灘北1・北・三 田	
29	30					
待降節第 1 主日(B 年)	聖アンデレ使 徒					

◎は掃除当番地区です

**教会大掃除** 12 月 5 日(土曜日) 9 時より教会大掃除を実施いたします。  
外溝、落葉清掃を中心に行います。皆様のご協力をお願いいたします。



<p>次回12月号の発行は、11月28日(土)です。 原稿は毎月15日ごろまでに教会受付へ直接ご持 参いただくか、FAX やメールでお願いいたしま す。皆様からの原稿をおまちしております。あわ せてご意見もお寄せください。 (広報部)</p> <p><a href="http://www.rokko-catholic.jp">http://www.rokko-catholic.jp</a></p>	<p style="text-align: center;"><b>六 甲 カ ト リ ッ ク 教 会</b></p> <p>〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21 電 話 078-851-2846 F A X 078-851-9023 E - メ ー ル renraku@rokko-catholic.jp 発行責任者 アルフレド・セゴビア 編 集 広 報 部</p>
--	---